

子どもたちの笑顔のために その3「給食編」

～学校の感染対策～

2日にスタートした給食。子どもたちが最も楽しみにしている給食です。でも給食時は、配膳で人と人が交わることやマスクを外すことなど感染リスクが高まる可能性があり、特に注意を払いながら実施しています。今回は、穂積小学校での給食に関わる感染症対策をお伝えしたいと思います。

◎今日の給食の献立は、これ！！

食パン、ブルーベリージャム、スライスチーズ、牛乳、生パイン



いつもの献立に比べると、ちょっと、少ない感じがしますが、「安全・安心」をまず第一に考え、いろいろな工夫がされています。

【安全のための工夫①】

短時間で安全に配膳できるように、全個包装での簡易給食を提供しています。中でもパンは、センターで一人分ずつ個包装にしています。トングで取り分ける必要がなく、手早く配膳できます。

給食センターの皆さんが、袋詰めしています



【安全のための工夫②】

子どもたちは、「あわあわてあらいのうた」を聞きながら、手を洗います。この曲は、汚れやすい親指や爪の間、手首などすみずみまで洗うことができ、子どもたちは、手指の確実な洗浄を行うことができます。

「歌に合わせて、洗うよ」



【安全のための工夫③】

今週の給食は、配膳の際の感染を防ぐため、先生が配膳を行います。先生が配膳をする間、子どもたちは、静かに自分の席でマスクを着けたまま、待ちます。また、食事をするときも、机列は学習の時と同じように隣との間をあけ、前向きで私語をしないで食べます。



【安全のための工夫④】

片付けの際にはパントリーが混雑しないよう、出来るだけ少人数で運びます。また、一列で間隔を保って待つことができるよう待機位置を足型などを活用して明示しています。

足型の印に立って、混雑を避けます



来週の給食からは、一品ずつおかずも増えていく予定です。子どもたちの楽しみな給食が、安全で安心な中で、実施できるようこれからも十分に配慮していきます。